

川崎重工業株式会社

NO.2020122

2021年3月31日

各 位

会 社 名 川崎重工業株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 橋本 康彦
コード番号 7012 東京① 名古屋①
問合せ先 経理部長 星野 達生
【東京】TEL 03-3435-2130
【神戸】TEL 078-371-9531

2021年3月期通期連結業績予想の修正について

川崎重工は、2021年2月4日に公表した2021年3月期通期（2020年4月1日～2021年3月31日）の連結業績予想について、下記の通り修正しましたのでお知らせします。

記

1. 2021年3月期連結業績予想の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業損益	経常損益	親会社株主に 帰属する当期 純損益	1株当たり 当期純損益
前回発表予想(A) (2021年2月4日発表)	百万円 1,500,000	百万円 △10,000	百万円 △15,000	百万円 △25,000	円 銭 △149.66
今回修正予想(B)	1,500,000	△5,000	△4,000	△23,000	△137.68
増減額(B-A)	—	5,000	11,000	2,000	—
増減率(%)	—	50.0%	73.3%	8.0%	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	1,641,335	62,063	40,429	18,662	111.72

2. 修正の理由

営業損益は、航空宇宙システム事業における新型コロナウイルス感染再拡大の影響等による悪化はあるものの、モーターサイクル&エンジン事業のコスト削減等による好転や、精密機械・ロボット事業の建設機械市場向け油圧機器の販売増加による好転等により、50億円改善の50億円の損失となる見通しです。経常損益は、営業損益の改善に加え、一部事業における悪化懸念の解消や、為替レートが円安に推移していることなどにより、110億円改善の40億円の損失となる見通しです。親会社株主に帰属する当期純損益については、車両事業における固定資産の減損損失の計上や損益の改善に伴う税金費用の増加などはあるものの、経常損益の改善により、20億円改善の230億円の損失となる見通しです。

なお、本業績見通しの修正に伴う年間配当予想額の変更は行いません。

(業績等の予想に関する注意事項)

上記の業績見通しは、現時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみにより投資判断を下すことはお控えくださるようお願いいたします。実際の業績は、外部環境および内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする円の為替レート、税制や諸制度などがあります。

以 上